

司法試験合格体験談

既修・4回目合格 森田一成

勉強法について

・論文

結論として私が最終的にやっていたことは法科大学院入試と同じです！法律論を予備校ベースのレベルでいいのである程度理解(全てではなくていい)し、論点に対する論証を覚え、それを問題との関係で引き出せるように問題を解きまくる。ただそれだけでした。安心してください。

・短答

短答は毎日条文を少しずつ素読しながら、過去問を何度も解き、間違った問題はストックして何度も解けるようにしました。その際、自分の自信度を丸・三角・バツでメモしておいて丸なのに間違ったやつは勘違いしているので特に復習するといった具合です。

教材について（論文）

教材については、合格者の方のほとんどがおっしゃると思いますが、対象は絞ってください！私の場合は、全法趣旨規範ハンドブック（辰巳法律研究所）を使っていました。私は合格した年、基本書はほとんど見ませんでした。わからないことは基本的に先生に聞きにいきました。それくらいです。理解したことはそこに書き加えて、論証は上手い書き方を再現答案から見つけて貼ったりして原型はとどめていませんでしたがあくまで予備校の本です。予備校本なので余計なことはほぼ書いていません。これを何度も読み返して、あとは過去問・答練を受け続けるのみです。特に高度なことは一切しませんでした。

1科目につき基本書が2冊以上ある方は危険な傾向にあると思ってください。特に私のように成績がふるっておられない方は即座に勉強方針の見直しが必要だと思います！！現時点で読者の方はいくつ論証を言えるでしょうか。いくつ民訴法の概念の定義を言えるでしょうか。いくつ刑法各論の保護法益と構成要件が言えるでしょうか。この機会に受験勉強との距離をご自身でチェックされるといいと思います。

最後に

私は4度目の受験でようやく合格しました。複数回受験だからこそたくさん反省して、ああでもないこうでもないと考えました。最終的に行き着いたのが上記のようなシンプルな勉強でした。最後に私が1つ確実に言えることは、在学生の皆様は今から努力すればみなさん合格の実力が十分あるということです。諦めなければ必ず合格できます！頑張ってください。

以上